



報道関係者 各位

令和2年4月28日
名取市健康福祉部社会福祉課

応急仮設住宅の最後の入居者が退去されます

本市の応急仮設住宅（プレハブ）の入居者が、4月28日にすべて退去となりました。

愛島東部応急仮設住宅団地に入居していた最後の1世帯が引っ越しを終え、市に鍵の返還がありました。

本市の応急仮設住宅（プレハブ）は、東日本大震災の被災者向けに宮城県により建てられたもので、平成23年4月28日に最初の箱塚桜応急仮設住宅団地が完成、5月3日に入居を開始して以来、計8団地（910戸）が建設されました。供与を開始してから9年を経て、役割を終了しました。

愛島東部応急仮設住宅については、宮城県により解体工事が6月以降に開始される予定です。

【概要】

- ・ 最後となった退去者からの鍵の返還日 令和2年4月28日（火）
- ・ 退去後の住宅団地の状況確認日 令和2年4月28日（火）午後2時45分～
※市長同席。

【市長コメント】

9年間と長い時間がかかりましたが、被災された方の住まいの再建という意味で大きな節目とっております。引き続き、心のケア、地域コミュニティの再生など、ソフト面での支援に取り組んでまいります。

【参考】

建設された応急仮設住宅（プレハブ）の状況

- 住宅団地数：8団地（うちグループホーム 1団地）
- 建設戸数：910戸（うちグループホーム 21戸）
- 最も多く入居していた時期等
 - ・ 時期：平成23年10月31日
 - ・ 入居世帯：780世帯
 - ・ 入居戸数：885戸（入居率97.2%）
 - ・ 入居者数：2,013人

【問い合わせ】

名取市健康福祉部社会福祉課生活再建支援係
太田 英男（内線102）
TEL：022-383-6232 FAX：022-384-2101
※不在の場合は折り返しご連絡いたします。